

平成22年度

金沢大学大学院自然科学研究科

博士前期課程

(一般選抜・特別選抜)

学生募集要項

(第2次)

専攻名

電子情報工学専攻	機能機械科学専攻
人間・機械科学専攻	物質工学専攻
社会基盤工学専攻	

平成21年10月

金沢大学大学院自然科学研究科

日 程 (博士前期課程)

専 攻	一 般 選 抜		特 別 選 抜			合格者発表
	出 願 期 間	試 験 日	出 願 期 間	試 験 日		
電子情報工学専攻	—	—	11月27日(金)	外国人 留学生	12月25日(金)	平成22年 1月8日(金)
機能機械科学専攻	—	—		帰国子女		
人間・機械科学専攻	—	—		外国人 留学生		
物質工学専攻	—	—		帰国子女		
社会基盤工学専攻	11月27日(金) ∪ 12月4日(金) (注1)	12月25日(金)	12月4日(金) (注1)	社会人 外国人 留学生 帰国子女 土木系 以外出身者		

(注1) 出願資格により、事前にその資格を確認するため、上記の提出期日より早く定めております(平成21年11月17日(火))ので、Ⅳ～Ⅶにある「出願資格」を参照してください。

(注2) 試験日及び試験科目等の詳細については、Ⅳ～Ⅶにある各選抜の「選抜方法」及び(別紙)「受験者への注意」(14ページ)を参照してください。

目 次

I. 募 集 人 員	1
II. 募 集 専 攻	1
III. 入学者受入方針	2
IV. 一 般 選 抜	3
1. 出 願 資 格	3
2. 出 願 方 法 (出 願 書 類, 出 願 期 間, 出 願 先)	4
3. 選 抜 方 法 (試 験 期 日, 試 験 場, 試 験 科 目, 試 験 日 時)	5
4. 合 格 者 発 表	5
V. 特 別 選 抜 (社会人)	6
1. 出 願 資 格	6
2. 出 願 方 法 (出 願 書 類, 出 願 期 間, 出 願 先)	6
3. 選 抜 方 法 (試 験 日 時, 試 験 科 目, 試 験 場)	7
4. 合 格 者 発 表	7
VI. 特 別 選 抜 (外国人留学生・帰国子女)	7
1. 出 願 資 格	7
2. 出 願 方 法 (出 願 書 類, 出 願 期 間, 出 願 先)	8
3. 選 抜 方 法 (試 験 日 時, 試 験 科 目, 試 験 場)	8
4. 合 格 者 発 表	8
VII. 特 別 選 抜 (土木系以外出身者〔社会基盤工学専攻〕)	9
1. 出 願 資 格	9
2. 出 願 方 法 (出 願 書 類, 出 願 期 間, 出 願 先)	10
3. 選 抜 方 法 (試 験 日 時, 試 験 科 目, 試 験 場)	10
4. 合 格 者 発 表	10
VIII. 共 通 事 項 (一般選抜・特別選抜)	11
1. 入 学 時 に 必 要 な 経 費	11
2. 注 意 事 項	11
3. そ の 他	11
4. 個 人 情 報 の 取 扱 い	12
5. 出 願 書 類 の 請 求 先 ・ 照 会 先	12
(付1) 専攻長及び連絡先	13
(付2) 専攻の講座, 研究分野, 内容等	13
(別紙) 受験者への注意	14
金沢大学大学院自然科学研究科の位置図	15

平成22年度
金沢大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)学生募集要項(第2次)
一般選抜・特別選抜

I. 募 集 人 員

専 攻	募 集 人 員					
	一般選抜	特 別 選 抜				
		社会人	外国人留学生	帰国子女	土木系以外 出 身 者	金沢大学工学部 物質化学工学科 以外出身者 (化学コース)
電子情報工学専攻	—	—	若干名	若干名	—	—
機能機械科学専攻	—	—	若干名	若干名	—	—
人間・機械科学専攻	—	—	若干名	若干名	—	—
物質工学専攻	—	—	若干名	若干名	—	—
社会基盤工学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	—

II. 募 集 専 攻

【電子情報工学専攻】：電気電子系と情報システム系の研究分野があり，電気・電子・情報工学の総合的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

※系及び研究分野の詳細は，<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/kk02.html>及び(別紙)受験者への注意(14ページ)を参照してください。

【機能機械科学専攻】：高度なものづくりに適応した機械科学の基礎から応用までの教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【人間・機械科学専攻】：機械工学をベースとし「人間との適合／支援」，「自然との調和」，「社会との共生」を目指した，教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【物質工学専攻】：化学工業の理論から応用までの総合的教育研究を行います。

化 学 コ ー ス：化学基礎に重点をおいたコース

化学工学コース：化学工学基礎に重点をおいたコース

修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

※コースの詳細は，<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/kk06.html>及び(別紙)受験者への注意(14ページ)を参照してください。

【社会基盤工学専攻】：自然における人為的環境の開発・制御の総合的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

Ⅲ. 入学者受入方針

【電子情報工学専攻】

電子情報工学専攻では、創造力豊かで、新分野開拓にも意欲を持ち、自立心と指導力、そして国際性を備えた、電気・電子・情報工学・生命情報分野の研究者や技術者の育成を目指しています。

当該分野は、最新の情報技術から地球規模でのエネルギー対策や環境問題まで、専門性に加えて総合的・学際的な課題を有しております。本専攻では、講義や研究活動を通して、高度化・深化した専門的学問の修得と同時に幅広い最先端技術の強化も重視しております。また、留学生を交えての学習や課題研究、英語論文の執筆指導など、国際人としての育成も行います。

本専攻では、電気・電子・情報工学系の専門知識を有していて、自らの専門分野に強い探究心を持ち、さらに高度な学問を学ぼうとする人が多数応募されることを期待しています。

【機能機械科学専攻】

機械工学はあらゆる産業のモノづくりにおける基幹となる学問分野であり、これからも産業界全体の技術革新における原動力として高度でかつ専門的な役割をはたしていくことになると考えられます。これには機械工学におけるより専門的知識を持つ人材の輩出を必要としています。機能機械科学専攻では、それらの基礎となる数学、物理学を含めたモノづくりに関するあらゆる分野に必須とされるより専門的な素養の体得を目指した教育と研究を行います。

本専攻では、上述の社会的要求に応え、機械工学におけるより深い専門的知識を持つ人材の輩出を目標とし、自己が持つ機械工学の素養を活かし、より高度なモノづくりへの興味と、信頼性の高い機械を設計することに情熱と意欲を持つ諸君のチャレンジを期待します。

【人間・機械科学専攻】

機械科学と技術の高度な発展により、人間が利用する機械や技術はますます多様化し、人間との適合をより深く考えた技術と工学が必要になっています。また、技術の利用が自然環境に与える影響が大きくなり、自然環境の保全と有効利用を考えた技術システムの構築が不可欠となっています。社会における技術と社会的役割はますます大きくなっており、技術者の社会的責任と技術の社会システムとの適合が重要になっています。人間・機械科学専攻では、機械科学をより深く学ぶとともに、人間や自然のメカニズムをよく理解し、人間支援に役立つ技術の設計・生産へ応用すること、自然環境を保全し、有効利用をはかる技術システムを開発すること、社会における技術および技術者の責務とシステムを明らかにすることなどについて教育と研究を行います。21世紀の日本と世界を担うエンジニアの高い志を持った諸君のチャレンジを期待します。

【物質工学専攻】

物質工学専攻は、物質をキーワードとして、現代・未来における人間社会や社会環境の発展・変革に貢献できる研究者・技術者を育てることを目指している化学系専攻です。

近年の化学工業の技術革新は、新規物質・機能性材料の開発、化学プロセスの開発・高効率化など、よりファイン化に向かってめざましい進歩を遂げつつあります。一方では、人間と自然との共生の重要性の認識から、資源エネルギー問題、環境問題など化学技術者が活躍する分野が広がっています。

本専攻では、これらの学問分野での高度な専門知識と幅広い視野の修得を目指し、講義、演習、課題研究を通して教育を行います。化学あるいは化学工学の専門分野の知識を有し、自然環境に調和した社会の確立と産業の発展・構築を目標に積極的にチャレンジする、意欲ある多数の学生諸君の応募を期待します。

【社会基盤工学専攻】

人類の文化を支え、近代文明を推進してきた最も歴史の古い学問である土木工学を中心とし、近年とくに重要性が増してきている都市・環境問題などに対応し、安全で快適な国土や都市づくりに寄与する技術者・研究者を育成することを目標としています。そのために関連する都市工学、環境工学などの学識も修得しつつ、さらに広い視野と高度な技術及び広範な应用能力を持つための教育と養成を行っています。

研究指導方針としては、総合技術者の養成を目的とする学部教育と異なり、より専門的かつ高度な内容の講義・演習を行い、現代のニーズに応じた最新の課題が処理できる能力を養っていますので、この分野で積極的に活躍しようとする多くの学生を求めています。さらに、複合領域も多いことから、土木工学系以外の学科・学部出身者に対しては特別選抜でも受け入れています。

IV. 一 般 選 抜

1. 出願資格

博士前期課程に出願することのできる者は、次の各号の一に該当する者としします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を修了し、学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者で、平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みのもの
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣が指定した者(注1)
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(注2)
- (10) 次の①から④に該当する者であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(注2)
 - ①平成22年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者(注3)
 - ②外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
 - ③我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
 - ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに22歳に達するもの(注2)

注1. 出願資格(4), (5), (6), (7)又は(8)により出願しようとする者は、平成21年11月17日(火)までに**出願書類を提出してください。事前にその資格を確認します。**

注2. 出願資格(9), (10)又は(11)により出願しようとする者は、その旨を事前に申し出た上、平成21年11月17日(火)までに**出願書類を提出してください。事前審査に必要な書類等について通知します。ただし、出願資格(10)の①により出願しようとする場合は、注3(2)を参照してください。**

注3. (1) 出願資格(10)の①については、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学や高等専門学校等を卒業した者などが対象)は、適用されません。なお、休学した期間は、在学期間に含まれないものとします。

(2) ①出願資格審査の要件は、次のとおりです。

ア 出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で、3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みのもの

イ 4年次に履修すべき必須科目などを除き、平成22年3月31日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者

②出願前に個別に出願資格審査を行いますので、出願書類及び次の書類を平成21年11月17日(火)までに提出してください。

ア 推薦書(様式随意。厳封したもの。関係教員が記入し、学長又は所属長が推薦する。)

イ 履修の手引(授業内容一覧を含む。本工学部在学者は不要。)

ウ 在籍期間証明書(休学期間の有無を明記したもの。本工学部在学者は不要。)

エ 成績証明書

注4. 一般選抜による受験を希望する外国人留学生又は帰国子女については、出願前のなるべく早い時期に志望専攻の専攻長(13ページ参照)又は希望指導教員と連絡を取ってください。

2. 出願方法(出願書類, 出願期間, 出願先)

2. 1 出願書類

書類等	摘 要
①入学願書, 受験票, 写真票 【様式1】	各専攻の「(別紙)受験者への注意」(14ページ)参照。また, 必ず入学検定料「振込金証明書」を裏面の所定欄に貼付してください。
②学業成績証明書	出身大学長, 学部長又は出身短期大学長, 高等専門学校長, 学校長発行のもの。(注1)
③卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学長, 学部長又は出身短期大学長, 高等専門学校長, 学校長が作成したもの。学業成績証明書に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであることが記載されている場合は, 提出不要です。(注1)
④入学検定料 振込金証明書	<p>入学検定料 30,000円 納入方法: 募集要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入のうえ, 「電信扱」が利用できる金融機関(郵便局を除く)の窓口で納入してください。納入後, 銀行領収印が押してあることを確認し「振込金証明書」を願書の裏面の所定欄に貼付してください。「領収書」は, 大切に保存してください。</p> <p>※(1)通常, 金融機関の窓口営業時間は午後3時までです。また, 土日・祝日は休業となりますので, 注意してください。 (2)ATM(現金自動預払機), 携帯電話, パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願受理後は, いかなる理由があっても入学検定料は返還しませんので, 注意してください。 ただし, 入学検定料の振込後, 出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので, 下記担当まで連絡してください。 なお, 返還の際は「領収書(本人控)」及び「振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 担当 金沢大学財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5058~5060 </div>
⑤返信用の定形封筒	募集要項に添付の定形封筒に350円切手(速達郵便)を貼付, 郵便番号, 住所, 氏名を明記してください。(受験票返送用)
⑥連絡受信先シール	郵便番号, 住所, 氏名等必要事項を記入してください。(募集要項に添付の用紙)
⑦写 真 2 枚	脱帽半身正面向き(背景無地)で出願前3カ月以内に単身撮影した同一のものを写真票及び受験票の所定の位置に貼付してください。(写真の大きさ: 縦4cm×横3cm)
※以下は該当者のみが提出してください。	
⑧学位授与証明書	出願資格(2)により出願をしようとする者は, 学士の学位授与証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)を提出してください。
⑨証 明 書	出願資格(3)により出願をしようとする者は, 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書及び学士の学位の授与を申請する予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。(注2)
⑩研究・開発業務等の概要又は実務経験の概要	出願資格(11)により出願する者は, 「研究・開発業務等の概要」又は「実務経験の概要」(A4版3枚以内)を提出してください。
⑪英語資格試験スコア認定書 (出願時は提出不要。試験日に提示。)	<p>社会基盤工学専攻の試験科目の英語についてはTOEIC又はTOEFLを利用し, 独自の英語の試験は行いません。TOEIC又はTOEFLのスコア(個人用公式認定書)を選抜試験日に必ず持参し提示してください。提示しない場合は失格とします。提示された認定書は, 確認後に返却します。なお, 提示が認められるものは, 以下に示した有効期限を満たす個人用公式認定書のオリジナルです。認定書をコピーしたものや, カレッジTOEIC(TOEIC IP), TOEFL-ITPのスコアは認められませんので注意してください。 スコアの有効期限: 認定書に明記されている受験年月日(又は認定書の発行年月日)が本研究科の試験日からさかのぼって, 3年以内であること。</p>

⑫その他	日本に在留する外国人の志願者は、パスポート(氏名部分)をA4判に複写したもの及び市区町村長の発行する登録原票記載事項証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。
------	---

- (注1) 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科の修了(見込)者は、専攻科及び本科両方の証明書を提出してください。外国の学校の修了(見込)者は、日本語又は英語で作成された証明書を提出してください。
- (注2) 出願資格(3)により出願し、本研究科の選抜試験に合格した者のうち、学位授与の申請を行わなかった場合その他学士の学位を得られないこととなった場合は、その旨を、本学大学院自然科学研究科長あてに速やかに通知してもらうよう短期大学長又は高等専門学校長に申し出てください。

2. 2 出願期間及び出願先(書類提出先)

専攻名	出願期間・出願先
社会基盤工学専攻	平成21年11月27日(金)～平成21年12月4日(金)(必着) 金沢大学角間南地区事務部学生課学務第二係(工学系担当) 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076(234)6831

- (注1) 受付時間は午前9時から午後4時30分まで(土曜・日曜日を除く)です。
郵送の場合も出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)です。
- (注2) 出願書類を郵送する場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院自然科学研究科(博士前期課程)入学願書在中」と朱書してください。
なお、募集要項等出願に必要な書類の請求については、Ⅷ. 5. 出願書類の請求先・照会先(12ページ)を参照してください。

3. 選抜方法(試験期日, 試験場, 試験科目, 試験日時)

入学志願者の選抜は、「学力検査(筆記試験及び口述試験)」及び「学業成績証明書」に基づいて行います。

3. 1 試験期日及び試験場

専攻	試験期日	試験場
社会基盤工学専攻	平成21年12月25日(金)	金沢大学自然科学本館(金沢市角間町)

3. 2 試験科目

専攻	試験科目 ※ 1		
	外国語	基礎科目	専門科目
社会基盤工学専攻	英語 (TOEIC 又は TOEFL のスコア で評価す る) ※ 2	数学	構造力学, 水理学, 土質力学, 計画数学, 環境工学(環境基礎工学, 水環境工学) 以上の5科目のうち3科目を選択すること

※ 1 (別紙)受験者への注意(14ページ)を参照してください。

※ 2 英語資格試験(TOEIC, TOEFL)の利用について

2. 出願方法 2. 1 出願書類(4ページ)の⑪の摘要欄を参照してください。

3. 3 試験日時

専攻	試験日	時間	試験科目
社会基盤工学専攻	平成21年12月25日(金)	10時00分～11時00分	数 学
		13時00分～16時00分	専 門 科 目
		16時30分～	口 述 試 験

4. 合格者発表

専攻	発表日時	発表の場所及び方法
社会基盤工学専攻	平成22年1月8日(金) 16時頃	自然科学本館において発表するとともに合格者へ郵便で通知します。

V. 特別選抜(社会人)

1. 出願資格

科学技術の急速な変革，学際化，総合化に柔軟に対応できる人材の育成の一環として，地域社会・産官学から社会人のリフレッシュ教育・生涯教育の場が求められています。このような社会的要請に応えるために，教育研究機関，官公庁，企業等で開発・研究に携わっている又は携わってきた社会人を受入れ，高度な研究能力の活性化，知識・技術の習得を目的として，一般の志願者とは異なる社会人特別選抜を実施します。この選抜により入学した社会人に対して，大学院での学修を容易とするために「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。

参 考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)[抄]
第14条 大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

この制度により入学することのできる者は，社会基盤工学専攻の志願者で，入学時に教育研究機関，官公庁，企業等において，3年以上の専門的な実務経験(通算可，ただし，出願時において，卒業見込み又は修了見込みの者は除く)を有する者で，次の各号の一に該当するものとします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者(注1)
- (4) 我が国において，外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者(注1)
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(注1)
- (6) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣が指定した者(注1)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(注1)
- (8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成22年3月31日までに22歳に達するもの(注2)

注1. 出願資格(3)，(4)，(5)，(6)又は(7)により出願しようとする者は，事前にその資格を確認するため，平成21年11月17日(火)までに**出願書類**を提出してください。

注2. 出願資格(8)により出願しようとする者は，その旨を事前に申し出た上，平成21年11月17日(火)までに**出願書類**を提出してください。事前審査に必要な書類等について通知します。

注3. 本学が必要とした場合，証明書又はその他の必要な書類等の提出を求めることがあります。

注4. 志願者は，出願前のなるべく早い時期に志望専攻の専攻長(13ページ参照)又は希望指導教員と連絡を取ってください。予め該当専攻の希望指導教員との協議を必要とします。

注5. 入学後は，自然科学研究科規程等に定められた教育課程に基づき，担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

2. 出願方法(出願書類，出願期間，出願先)

2. 1 出願書類

IV. 一般選抜 2. 出願方法 2. 1 出願書類(4ページ)にある「①～⑦」とともに，下記の書類を一括して提出してください。

なお，出願資格(8)により出願する者は，⑩も同時に提出してください。

- ⑬ 推薦書【様式2】……………勤務先の所属長が作成・厳封したもの
ただし，出願時在職していない者は原則として卒業研究の指導教員等が作成・厳封したもの
- ⑭ 業績内容調書(様式随意)……………実務経験の業績等を1,000字程度にまとめたもの
- ⑮ 研究(希望)計画書【様式6】……………本学所定用紙

2. 2 出願期間及び出願先（書類提出先）

専攻名	出願期間・出願先
社会基盤工学専攻	平成21年11月27日(金)～平成21年12月4日(金)(必着) 金沢大学角間南地区事務部学生課学務第二係(工学系担当) 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076(234)6831

(注1) 受付時間は午前9時から午後4時30分まで(土曜・日曜日を除く)です。

郵送の場合も出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)です。

(注2) 出願書類を郵送する場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院自然科学研究科(博士前期課程)入学願書在中」と朱書してください。

なお、募集要項等出願に必要な書類の請求については、Ⅷ. 5. 出願書類の請求先・照会先(12ページ)を参照してください。

3. 選抜方法(試験日時, 試験科目, 試験場)

選抜は、学力検査(口述試験)、学業成績証明書及び推薦書を総合して行います。

専攻	試験日	時間	試験科目	試験場
社会基盤工学専攻	平成21年12月25日(金)	16時30分～	口述試験	金沢大学自然科学本館 (金沢市角間町)

4. 合格者発表

専攻	発表日時	発表の場所及び方法
社会基盤工学専攻	平成22年1月8日(金) 16時頃	自然科学本館において発表するとともに合格者へ郵便で通知します。

Ⅵ. 特別選抜(外国人留学生・帰国子女)

1. 出願資格

電子情報工学専攻、機能機械科学専攻、人間・機械科学専攻、物質工学専攻及び社会基盤工学専攻への入学を希望する外国人留学生あるいは帰国子女で、次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (6) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣が指定した者(注1)
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年3月31日までに22歳に達するもの(注2)

注1. 出願資格(3), (4), (5)又は(6)により出願しようとする者は、事前にその資格を確認するため、平成21年11月17日(火)までに^(イ)出願書類を提出してください。

注2. 出願資格(7)により出願しようとする者は、その旨を事前に申し出た上、平成21年11月17日(火)までに^(イ)出願書類を提出してください。事前審査に必要な書類等について通知します。

注3. 本学が必要とした場合、証明書又はその他必要な書類等の提出を求めることがあります。

注4. 志願者は、出願前のなるべく早い時期に志望専攻の専攻長(13ページ参照)又は希望指導教員と連絡を取ってください。

2. 出願方法(出願書類, 出願期間, 出願先)

2. 1 出願書類

IV. 一般選抜 2. 出願方法 2. 1 出願書類(4ページ)にある「①～⑦」を提出するほか、⑩も選抜試験時に提示してください。ただし、英語を母国語とする等の志願者については提出を免除することがありますので、平成21年11月17日(火)までに志望専攻の専攻長(13ページ参照)又は希望指導教員と連絡を取ってください。

なお、出願資格(7)により出願する者は、⑩も同時に提出してください。

また、特別選抜(外国人留学生)の志願者は、⑫パスポート(氏名部分)をA4判に複写したものと及び登録原票記載事項証明書を、特別選抜(帰国子女)の志願者は調査書【様式3】も同時に提出してください。

2. 2 出願期間及び出願先(書類提出先)

専攻名	出願期間・出願先
電子情報工学専攻 機能機械科学専攻 人間・機械科学専攻 物質工学専攻 社会基盤工学専攻	平成21年11月27日(金)～平成21年12月4日(金)(必着) 金沢大学角間南地区事務部学生課学務第二係(工学系担当) 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076(234)6831

(注1) 受付時間は午前9時から午後4時30分まで(土曜・日曜日を除く)です。

郵送の場合も出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)です。

(注2) 出願書類を郵送する場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院自然科学研究科(博士前期課程)入学願書在中」と朱書してください。

なお、募集要項等出願に必要な書類の請求については、Ⅷ. 5. 出願書類の請求先・照会先(12ページ)を参照してください。

3. 選抜方法(試験日時, 試験科目, 試験場)

選抜は、学力検査(筆記, 口述試験)及び学業成績証明書(帰国子女にあつては調査書)を総合して行います。

専攻	試験日	時間	試験科目	試験場
電子情報工学専攻 機能機械科学専攻 人間・機械科学専攻 物質工学専攻 社会基盤工学専攻	平成21年12月25日(金)	10時～11時	数学※1	金沢大学 自然科学本館 (金沢市角間町)
		13時～16時 (物質工学専攻 は13時～15時)	専門科目※2	
		16時30分～	口述試験※2	

※1 物質工学専攻は、数学を免除します。

※2 志願者には、英語(TOEIC又はTOEFLのスコア提出)、専門科目、口述試験のいずれか或いはそのすべてを免除することがあります。なお、試験科目は、受験票送付の際に通知します。

4. 合格者発表

専攻	発表日時	発表の場所及び方法
電子情報工学専攻 機能機械科学専攻 人間・機械科学専攻 物質工学専攻 社会基盤工学専攻	平成22年1月8日(金) 16時頃	自然科学本館において発表するとともに合格者へ郵便で通知します。

Ⅶ. 特 別 選 抜(土木系以外出身者〔社会基盤工学専攻〕)

1. 出願資格

趣旨：社会基盤工学専攻では、土木工学を主体とする教育・研究を行っていますが、学問の対象が学際領域である場合が多々あります。このため、学部教育を土木系以外の分野において履修した者でも、成績が優秀でかつ社会基盤工学専攻において学問を行う明確な方針を持っていれば、十分な成果を上げることができます。そこで広く人材を求めするため、一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

この制度により入学することのできる者は、土木系以外出身者で、次の各号の一に該当する者としてします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を修了し、学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者で、平成22年3月31日までに学士の学位を授与される見込みのもの
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣が指定した者(注1)
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者(注1)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(注2)
- (10) 次の①から④に該当する者であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと本研究科において認めたもの(注2)
 - ①平成22年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者(注3)
 - ②外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
 - ③我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
 - ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに22歳に達するもの(注2)

注1. 出願資格(4), (5), (6), (7)又は(8)により出願しようとする者は、平成21年11月17日(火)までに**出願書類を提出してください。事前にその資格を確認します。**

注2. 出願資格(9), (10)又は(11)により出願しようとする者は、その旨を事前に申し出た上、平成21年11月17日(火)までに**出願書類を提出してください。事前審査に必要な書類等について通知します。ただし、出願資格(10)の①により出願しようとする場合は、注3(2)を参照してください。**

注3. (1) 出願資格(10)の①については、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学や高等専門学校等を卒業した者などが対象)は、適用されません。なお、休学した期間は、在学期間に含まれないものとします。

(2) ① 出願資格審査の要件は、次のとおりです。

- ア 出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で、3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みのもの
- イ 4年次に履修すべき必須科目などを除き、平成22年3月31日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者
- ② 出願前に個別に出願資格審査を行いますので、出願書類及び次の書類を平成21年11月17日(火)までに提出してください。
 - ア 推薦書(様式随意。厳封したもの。関係教員が記入し、学長又は所属長が推薦する。)
 - イ 履修の手引(授業内容一覧を含む。本学工学部在学者は不要。)
 - ウ 在籍期間証明書(休学期間の有無を明記したもの。本学工学部在学者は不要。)
 - エ 成績証明書

注4. 本学が必要とした場合、証明書又はその他必要な書類等の提出を求めることがあります。
 注5. 志願者は、出願前のなるべく早い時期に社会基盤工学専攻長(13ページ参照)と連絡を取ってください。

2. 出願方法(出願書類, 出願期間, 出願先)

2. 1 出願書類

IV. 一般選抜 2. 出願方法 2. 1 出願書類(4ページ)にある「①～⑦」とともに、下記の書類を一括して提出してください。

なお、出願資格(1)により出願する者は、⑩も同時に提出してください。

- ⑬ 推薦書【様式2】……………指導教員又は勤務先上司等が作成・厳封したもの
- ⑯ 志願理由書【様式4】……………本学所定用紙

2. 2 出願期間及び出願先(書類提出先)

専攻名	出願期間・出願先
社会基盤工学専攻	平成21年11月27日(金)～平成21年12月4日(金)(必着) 金沢大学角間南地区事務部学生課学務第二係(工学系担当) 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076 (234) 6831

- (注1) 受付時間は午前9時から午後4時30分まで(土曜・日曜日を除く)です。
 郵送の場合も出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)です。
 (注2) 出願書類を郵送する場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院自然科学研究科(博士前期課程)入学願書在中」と朱書してください。
 なお、募集要項等出願に必要な書類の請求については、Ⅷ. 5. 出願書類の請求先・照会先(12ページ)を参照してください。

3. 選抜方法(試験日時, 試験科目, 試験場)

選抜は、学力検査(筆記試験, 口述試験), 学業成績証明書及び推薦書を総合して行います。

専攻	試験日	時間	試験科目	試験場
社会基盤工学専攻	平成21年12月25日(金)	10時～11時	専攻基礎科目※1	金沢大学 自然科学本館 (金沢市角間町)
		13時～14時	英語※2	
		16時30分～	口述試験	

- ※1 科目及び範囲等については、当該専攻から受験票送付時までに通知します。
 ※2 TOEIC又はTOEFLのスコア(個人用公式認定書)を持つ者は、出願時にコピーを提出した場合、英語の筆記試験が免除されます。この場合、選抜試験日にオリジナルを必ず持参し提示してください。提示された認定書は、確認後に返却します。
 (1) スコアの有効期限：認定書に明記されている受験年月日(又は認定書の発行年月日)が本研究科の選抜試験日からさかのぼって3年以内であること。
 (2) カレッジTOEIC(TOEIC IP), TOEFL-ITPは認めません。

4. 合格者発表

専攻	発表日時	発表の場所及び方法
社会基盤工学専攻	平成22年1月8日(金) 16時頃	自然科学本館において発表するとともに合格者へ郵便で通知します。

Ⅷ. 共 通 事 項(一般選抜・特別選抜)

1. 入学時に必要な経費

1. 1 授業料等納付金

入学料 282,000円(予定)

授業料(前期分) 267,900円(予定)

注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

1. 2 その他必要な経費

① 学生健康保険組合費 (2年分) 6,000円

② 学生教育研究災害傷害保険料(2年分) 2,100円

2. 注意事項

(1)出願手続き後の書類の変更、入学検定料の払い戻し、提出書類等の返却には応じません。

(2)提出書類等に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

3. その他

(1)過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については、<http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/03nyushi/master.html>を参照してください。

(2)身体に障害のある者等の事前相談

身体に障害等のある入学志願者で、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願期間締切日の3日前までに下記の書類を提出し事前に相談してください。

①事前相談書(下記事項を記載、様式随意)

- ・ 氏名、志望専攻名
- ・ 障害の種類・程度
- ・ 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
- ・ 大学等でとられていた配慮
- ・ 日常生活の状況
- ・ その他参考となる事項

②医師の診断書

③その他の参考書類(障害者手帳の写し等)

(3)奨学制度

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがあります。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要です。

日本学生支援機構奨学金貸与月額

・ 第一種奨学金(2008年博士前期課程入学者) 88,000円

・ 第二種奨学金 50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円から希望月額を選択

(4)長期履修制度

長期履修制度の利用を希望する場合は、「入学願書」(様式1)及び「研究(希望)計画書」(様式6)の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

※1 申請方法等は、合格通知とともにお知らせします。

※2 申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限内での修学の困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科博士前期課程では、最長4年までの在学期間を認めています。入学時に許可されれば、通常の修業年限(2年)において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

①有職者

②家事、育児、介護等に従事している者

(5)入学料免除

下記①又は②の事由に該当する者で、入学料免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は、合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

① 大学院に入学する者で、経済的理由によって入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

② 入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難である者

なお、入学料免除申請に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

学生部学務課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5164

(6)授業料免除

下記①又は②の事由に該当する者で、授業料免除を願い出た者に対し、選考の上、納入すべき学期の授業料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は、合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

① 経済的理由によって授業料を納入することが困難であり、かつ、学業が優秀である者

② 入学・進学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は入学・進学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難である者

なお、授業料免除申請に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

学生部学務課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5164

4. 個人情報の取扱い

金沢大学では、個人情報保護法及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく身上書等の書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

(1)入学者選抜及び入学手続に関わる業務

(2)入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務

(3)入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務

(4)入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務

(5)入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務

(6)修了生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)、同窓会活動への支援等に関する業務

(7)その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

5. 出願書類の請求先・照会先

学生募集要項及び出願用紙の郵送を希望する場合は、封筒の表に「大学院自然科学研究科(博士前期課程)学生募集要項第2次及び出願書類請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号、200円切手を貼り、受信者の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの)を同封して、出願先(書類提出先)の係へ申し込んでください。

また、応募について不明の点がある場合も出願先へ照会してください。

(付1)

専攻長及び連絡先

専攻名	専攻長	連絡先(電話)	メールアドレス
電子情報工学専攻	森本 章治 教授	(076) 234-4876	amorimot@ec.t.kanazawa-u.ac.jp
機能機械科学専攻	上田 隆司 教授	(076) 234-4724	ueda@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
人間・機械科学専攻	岩田 佳雄 教授	(076) 234-4672	iwata@t.kanazawa-u.ac.jp
物質工学専攻	高橋 光信 教授	(076) 234-4771	ktakaha@t.kanazawa-u.ac.jp
社会基盤工学専攻	川上 光彦 教授	(076) 234-4914	kawakami@t.kanazawa-u.ac.jp

(付2)

専攻の講座，研究分野・内容と教員一覧 → 本学ホームページを参照ください。

金 沢 大 学：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

自然科学研究科：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

電子情報工学専攻：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/02.html>

機能機械科学専攻：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/03.html>

人間・機械科学専攻：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/04.html>

物質工学専攻：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/06.html>

社会基盤工学専攻：<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/08.html>

(別紙)受験者への注意

- 入学願書の「志望専攻欄」の記載について
志望専攻欄に志望する専攻名を記載してください。

I 電子情報工学専攻受験者

電子情報工学専攻を志望する者は、入学願書の志望専攻欄の上段に「電子情報工学」と記入し、下段に、志望する研究分野が属する系の名(「電気電子系」、「情報システム系」のいずれか)を記載してください。系とそれに属する研究分野は下表のとおりです。

ただし、※印の研究分野はどちらの系にも属します。

系及び研究分野の詳細は、<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/kk02.html> を参照してください。

志望専攻欄の研究分野に記入した系により、試験科目の選択指定が異なるので注意してください。

系	研 究 分 野 名
電気電子系	※システム制御, ※ナノバイオ工学, ※デジタルシステム, ※適応システム, 適応信号処理, ※VLSIシステム, ※集積回路工学, ※電波情報工学, ※通信情報工学, 光通信工学, 超高周波工学, 電子物理, 回路素子工学, 薄膜電子工学, 超高速光工学, 磁気応用工学, 知能電気機器, 環境電力工学
情報システム系	人工知能, 計算機ソフトウェア, ネットワーク・並列計算, 人間情報処理, ネットワークの危機管理, 画像・生命情報工学, バイオインフォマティクス, ※システム制御, ※ナノバイオ工学, オーディオ情報処理, ※デジタルシステム, ※適応システム, ※VLSIシステム, ※集積回路工学, ※電波情報工学, 映像情報処理, ※通信情報工学, 離散力学系, 計算数理工学, 基礎数理

II 物質工学専攻受験者

1. 入学願書の志望専攻欄の記入について

物質工学専攻を志望する者は、入学願書の志望専攻欄の上段に「物質工学」と記入し、下段に、下表の「コースと研究分野」及び「下記Webページ」を参照の上、化学コースあるいは化学工学コースのいずれかを選択して記入してください。

コース及び研究分野の詳細については、<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/master/kk06.html> を参照してください。

コース	研 究 分 野 名
化学コース	溶液物性化学, 分析・環境化学, 設計有機化学, 精密有機合成化学, 高分子材料化学, 機能開発化学, 機能材料化学, 分子機能解析化学
化学工学コース	高分子工学, 環境調和型プロセス物性, 微粒子工学, 高分子複合材料, 環境反応工学, エネルギー変換・貯蔵, 環境生物反応, 物質循環制御, 生物機能性材料, 生理活性物質工学, 生物機能工学

2. 学力検査について

両コースの試験科目は、各選抜の「選抜方法」のページに示されています。受験者は、志望コースの科目を必ず受験しなければなりません。

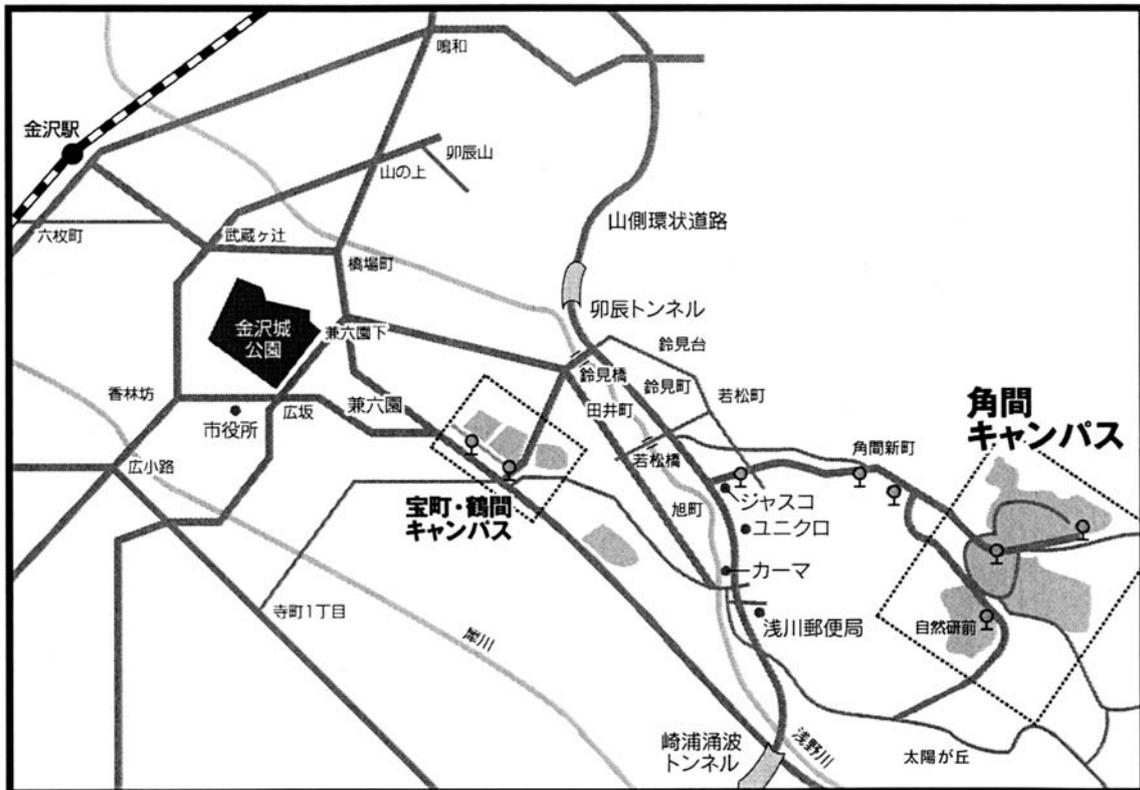
III 社会基盤工学専攻受験者

一般選抜科目の配点は以下のとおりです。

- ・英 語 100点 (TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)
- ・数 学 100点
- ・専門科目 300点

* TOEICの場合は730点, TOEFLの場合は80点 (iBTの場合) を満点として比例配点します。

自然科学研究科の位置図



■金沢駅からキャンパスまでのアクセス

(北陸鉄道バス利用の場合)

- 角間キャンパス<バス停：金沢大学自然研前>まで

JR金沢駅東口から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車「金沢大学自然研前」下車
徒歩すぐ (バス所要時間約35分)